

第1回むつ市地域福祉計画策定委員会 会議録

開催日時 令和5年5月26日(金)午前10時00分

開催場所 市役所本庁舎大会議室B

出席委員

会場出席

菊池三千郎副委員長、遠藤雪夫副委員長、金子和子委員、赤松靖委員、佐々木泰心委員、佐藤慶一委員、坂部啓二委員、布施俊藏委員、折館博委員、村中祐美子委員、二本柳裕子委員、永井信孝委員、成田豊委員

WEB出席

宮本雅央委員長

欠席委員

佐藤充委員

1. 開会

2. 委嘱状交付

今回新たに加わっていただいた5名の委員に対して委嘱状を交付

坂部啓二委員、布施俊藏委員、村中祐美子委員、成田豊委員、(佐藤充委員(欠席))

3. 市長あいさつ(代理:副市長)

4. 委員紹介

15名の委員の紹介及び事務局の紹介

5. 諮問

市長(代理:副市長)から委員長(代理:遠藤雪夫副委員長)へ、むつ市第2期地域福祉計画策定の諮問

6. 議題

①議題第1号 会議の公開

事務局より会議の公開について説明を行った。

《質疑応答・意見等》

◎宮本委員長:

ただいまの事務局の説明について何かご質問等はありませんか。

(なし)

議題第1号会議の公開について承認。

②議題第2号 おつ市第2期地域福祉計画について

事務局よりおつ市第2期地域福祉計画について説明を行った。

《質疑応答・意見等》

◎宮本委員長：

他の自治体との状況なども鑑みてですね、このおつ市の地域福祉計画に取り入れたらいいのではないかと何を何点かお伝えしておきたいというふうに思います。

まず最初に、1点目は、地域福祉計画の中で、おつ市内地区ごとの特徴を踏まえた計画を取り入れたらいいのではないかと考えております。

例えば大畑ですとか、川内や脇野沢など、地域の状況が全て一緒ではないというふうに私は認識しているんですが、それぞれの地区ごとにいろいろ必要なものであるとか、取り組みであるとか、そういったことはある程度異なるのではないかなと思っています。

市の方で、一律共通するものだけ記載するという計画ですと、やはり実行力ですとか、まちづくりの進め方の具体的な方策として弱いと思います。したがって、ある程度その地区ごとの特徴を踏まえた重点的な取り組みというのを、明記するのが、地域づくりの中で実行力を持っていくのではないかなというふうに思うんですが。

ぜひこの計画については策定検討委員という組織があって、中身が考えられるというふうに認識しておりますので、そういったこともぜひ取り入れてみてはいかがでしょうかと、いうことが一点目です。

二つ目がですね、それをもし実現できたとしたならば、明確な目標ですね。目標というのを推進していく方向性だけではなくて、例えば数値目標が全ていいとは思ってないんですけども、目標値を表すですとか、取り組みを増やしていくというような、評価をしやすいような目標を明確にするというのが、今後の地域福祉計画を基にした取り組みの中でも、いろんな方にわかりやすいものになっていくのではないかなというふうに思っています。

例えば活動の実績数ですとか、取り組みの団体数みたいなものが、こう増やしていきたいとか、はい。あとは年間でこれぐらいの頻度でやれるのが本当はいいなとか、そういうような具体的な目標をですね、この計画の中に取り入れることによって、中間評価ですとか、次の期の地域福祉計画、5年後になりますが、そのあたりでの状況の変化と照らし合わせやすくなるんじゃないかなと思います。

したがって2点目は、目標を明確に計画の中に取り入れるということを考えてみてはどうかということです。

3点目ですが、1期目の地域福祉計画では、既に目標に対する取り組みとして、様々な事業とか、市で行っているサービスの名称が、書かれています。目標に対応するように。ですので、そういう取り組みをさらに促進するために、前提としては、多機関協働ですとか、住民活動とのいろんなコラボレーションみたいなのが、様々な地域で必要になっていると思います。

ですので、市役所内でもですね、そういう部署を超えたコラボというのが、多分今の地域作りの中では必要になっているのではないかというふうに考えています。

ですので、関連する部署をですね、この計画の中に、位置付けて明記していくというのがあれば、その事業やサービスはどこが所管しているとかってというのは、住民にとってもわかりやすいですし、いろいろな団体と手を組んでいくときにも目安にもなるので、その関係部署をですね、明記するというのはいかがでしょうかという提案です。

市役所の庁内連携を促すという点でも、様々な部署が折り重なってこの地域作りに取り組む、というイメージをですね、この計画の中で謳っていくというのは、重要な位置づけになるんじゃないかなと思っています。

以上3点ですね、まずその地区ごとの特徴を踏まえるのがどうかということ。二つ目が、目標を明確にして評価をしやすくするという観点はどうか。

3点目は、多機関協働ですとか、いろいろなコラボをしやすくするために、地域福祉計画の中でも、庁内連携を促せるようなそういう書き方で、一つの例として、関係する部署を明記するというような提案です。こういった感じですが、いかがでしょうか、委員の皆さん、また事務局の方から何か、ご意見、この点についてご感想などあればぜひご発言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか？

よろしいですか。皆さんに同意していただけるということで、理解してもよろしいでしょうか？ありがとうございます。

ぜひ検討委員の方にですね、この地域福祉計画策定検討委員の方に、この策定委員からの提案ということで、ぜひそういった内容を取り入れてみてほしいということで、引き継ぎをしていただきたいと思います。

実際に地区ごとの特徴を踏まえた計画を作るっていうふうになると、その地区を担当している例えば福祉系サービスの団体であるとか、その地区の住民などにヒアリングをすることかというの、いろんな自治体で計画を作るときにやられている手法なんですね。

そういったことが、今期、この地域福祉計画策定にあたって、可能かどうかはいろいろ事情があるとは思いますが、そういったことも取り組んでいけると、より明確な目標設定であるとか、事業の具体的取り組みを進めるやり方というのが、ヒントがたくさん得られると思いますので、ぜひ策定検討委員の方でもご検討いただきたいと思います。事務局の方はこんな感じでよろしいですか。提案というかたちで。

◆事務局（松山）：

福祉政策課長の松山です。3点ですね、先生の方から提案いただきましたけども、こちら事務局でもですね、いろいろと予算とか、そういう関連もありますので、できることは取り入れて今回の計画に取り入れていきたいと考えております。

◎宮本委員長：

策定検討委員の方は既に部とか課をまたいだ方々が組織されているというふうに認識しているので、その中で調整をしていただくと、より実効性のある計画になるのではないかなというふうに思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

その他、皆さんからご意見ご質問等ありますでしょうか？

(なし)

議題第2号むつ市第2期地域福祉計画について、承認

③議第3号 委員会の開催日程について

事務局から説明を行った。

《質疑応答・意見等》

◎宮本委員長：

ただいまの事務局の説明について、何かご質問などありませんでしょうか？

(なし)

議題第3号 委員会の開催日程について承認。

④議題第4号 地域住民の福祉ニーズ把握のためのアンケート調査票案について

事務局から説明を行った。アンケート調査票については(株)ぎょうせい萩原様から説明していただいた。

市民アンケート調査票への意見は、「アンケート調査票案に関する意見書」へ記入し、6月5日必着で事務局へ郵送またはご持参くださるようお願いした。

《質疑応答・意見等》

◎宮本委員長：

ご質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。

◎菊池副委員長：

誤字が一つあるなどと思って。資料の2-2、そのの、4ページ問6番目。1のところ、積極これ何て読むんですか。的じゃないそれ。

☆(株)ぎょうせい様:

誤字です。

◎菊池副委員長:

そうですね。以上です。

◎宮本委員長:

その他ご質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。

◎赤松委員:

抽出の対象者についてちょっと聞きたいんですけど、②番の中高生を対象者が高校2年生と中学2年生に限定されたんですけれども、この理由っていうのを教えていただきたいです。

◆事務局(武市):

令和3年度の間接評価の際に、中学校2年生の方にアンケートを依頼しました。その後、その方たちが今高校2年生になっておりますことから、また今回アンケートを実施しまして、その結果を計画の方に反映させるという意味で中学校2年生と高校2年生をお願いしております。当初、なぜ2年生だったのかってというのは申し訳ございません、ちょっとわからないです。

☆(株)ぎょうせい様:

ちょっと補足で回答させていただきますと、1年生と3年生というのは、1年生はやっぱ入ってきたばかりっていうのがあって、3年生ってのはこれから進路が決まっていく時期っていうと、これで少し言い方あれかもしれませんが、不安定といいますか、少し揺れる時期のところになりますので、ある程度安定してるといいますか、学生生活も落ち着いてきた中学2年生高校2年生っていうのが、対象になることが多くてですね、今回も前回もおそらくそういった理由で2年生を対象に調査を行っている。補足でございますが、はい、以上です。

◎赤松委員:

ありがとうございます。

結果の反映っていう点であれば、これをもとにいろんなものが作られるので、結果の反映だけじゃなくて状況把握のためにもっと増やしていいのかなっていうのは思いました。

あと2年生に限定する理由聞いたんですけども、一般的にはそれでいいですけど、この地域の現状、例えば脇野沢地区で言えば、たぶん中学生2年生って何人いると把握してないですけども、圧倒的に少ないと思うので母数の関係から言えば、なんかもう全て中学校高校全てを対象にして、Web方式をメインとしてやればその費用のところもいいんじゃないのかなと、私あの青年会議所にも所属していて、いろんなアンケートを法人さんとか学生さんを取るんですけ

れども、最近はずっとGoogleのアンケートの方を活用させてもらってまして、中学生も高校生もそれで全部対応させてもらってるので、最近も紙でアンケートを取るってことは学生に対してはほとんどしてなくて、逆に回答率ってのはすごい高くて、もちろんその学校からの協力もあってなんですけれども。本当にすごい高く、アンケートも回答されるのでWeb方式にすれば、全てを対象にできるんじゃないのかなっていうのは思ったので、検討いただければと思います。

◎宮本委員長：

Web方式だと返信文の郵送費もかかりませんし、送るだけですからね。
紙の印刷もいりませんので、対象数を増やせるかな。ご指摘の通りだと思います。
事務局の方、いかがですか。

◆事務局（松山）：

時時代の流れと申しますか、紙よりはWebというところですね、今後検討させていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

◎宮本委員長：

はい。ありがとうございます。先ほど、同計画の方針のところでは私が提案したのも、今、赤松委員がおっしゃっていただいたこともかぶってくるのかなというふうに思うんですよね。あの地域の実情をいろいろ反映するための工夫というのは、しすぎて悪いことはないと思いますので、もし可能であるなら、対象範囲を広げてとか、はい、というのがされるとなお良いものになるかなということだと思います。はい、ありがとうございました。その他ご質問等あれば挙手をお願いいたします。

◎坂部委員：

福祉団体と、それから町内会、これらが130団体と162団体ということになってましたけど、全体の数がどのくらいあって、何%と言いますか、いわゆるどういう根拠でもって、130にしたとかあるいは162にしたのか、この辺をちょっとお知らせいただければと思います。

◆事務局（武市）：

福祉団体等については約130団体と記載しておりますが、これは前回約このぐらいの団体をお願いしたので130団体と記載しております。

実際の数についてはこれから抽出してお願いしたいと思ってまして、児童福祉施設、保育園ですとか老人ホーム、グループホーム、身体障害者福祉協会、民生委員協議会など、あとNPO法人などですね、市内にある福祉団体を調べてお願いする予定となっております。

町内会につきましては今現在162町内会ありますので、162団体としております。

◎坂部委員：

数量はずっと先ほど委員長おっしゃった計画の取りまとめの地域性ということでは、今の中高生の問題と絡むと思うんですが、福祉団体等につきましても、ちょっと母数を把握していないという理解でよろしいですね。

◆事務局（武市）：

今現在は、そうですね。

◎坂部委員：

そうなったときに、いわゆる地域性を出していくとなったときに、ちょっとこういう言い方失礼かもしれませんが、学生の数もそうなんですけど、例えば脇野沢地区であるとか、旧川内地区であるとかっていうと、やはり旧むつ市内とは数とかそういうのは全然違うわけですよ。そうすると、一律で例えば旧市も含めて、一律で福祉団体がこうなんだからその中の130団体っていうと、いわゆる地域性を表すためにはちょっと不合理な部分が出てくるんじゃないのかなということあります。ことに福祉計画の基本計画ですから、福祉団体等のアンケートっていうのは、できるだけその地域性をきちっと細かく把握していくべきではないのかなというふうには思いますので、その母数の把握と抽出の仕方ですね、これについてもご検討いただければなと思いますが、以上です

◎宮本委員長委：

福祉団体は全数調査ではないですもんね？

◆事務局（武市）：

把握している分については全部アンケートを依頼してたと思いますが。

◎宮本委員長：

全数調査になりますかね

◆事務局（武市）：

約130でした。令和3年度は。前回の数字はちょっと載せてなくて、大体同じくらいになるのではないかというので、130団体というふうに載せましたが、これからちょっと市内の福祉団体を調べたいと思います。

◎坂部委員：

福祉団体等と町内会は全数アンケートとなる理解でよろしいですね。

◆事務局（武市）：

はい。

◎宮本委員長：

今ご発言いただいた趣旨に絡むと、団体向けアンケートの方には活動範囲が入ってるんですよ、資料3-2の3ページ問10、いわゆるサービスであるとか、いろんな活動をどこでやりますかという質問があるので、そういう意味でも今ご指摘いただいた地域性はわかる内容が少し含まれているかなというふうに私は見ていました。

もし、よりその地域の特徴ということで、深く考察するというのであれば、拠点の地域ぐらいは、あってもいいのかもしれないね。

あの貴団体の拠点はどこにありますかっていうのと、活動範囲はどこにありますかっていうのが、大体一致してるんじゃないかなというふうには思いますが、もしかしたらっていうところはありますので、いかがですかね、こういう工夫をすると多分、さらにその関連団体の地域の実態ってのは見えてくるかなと思いますが、拠点を聞く一文を入れるっていうのはどうですか、ぎょうせいさん、もしくは事務局の方、あんまり意味ないなっていうのであれば、入れなくてもいいと思うんですけど、感想的に。

☆（株）ぎょうせい様：

拠点をお聞きする設問を一つ加えるというのはよろしいかなと思います。そして今の議論の流れとして、やはり地域性っていう話もなっておりますので拠点と活動範囲とお聞きするっていうのはありかなと。

◎宮本委員長：

ただですね、遮って申し訳ないんですけど、これ郵送調査ですよ。

だから、拠点こっちはわかってるんですよ。わざわざアンケートって答えてもらえなくても、そのデータと連結はでもあれですか

☆（株）ぎょうせい様：

どちらかという、集計の方法の話になってくるので、お聞きするか、わかってますよねって話はちょっと作業的な部分も含めて、事務局様とのご相談、少なくとも、どういった地区から回答があるかっていうのを出すっていうのは全然、ですので、やり方は、はい、その上です。そうですね、事務局との相談の上って感じですかね。

◎宮本委員長：

拠点の要は住所データ等、ぎょうせいさんの方でやってもらう調査データを結合させる作業を事務局との連携でやるのか、それとも本当にアンケート調査の中だけで完結させて、回答の

データを持って分析するのか、このあたりが違いが出てくるということになりますよね。その辺は具体的な方法の話なので、事務局の方で引き取ってもらえますか？

☆(株)ぎょうせい様：

そうですね

◎宮本委員長：

やりやすい方法で、その拠点ですとか、活動範囲は既に質問項目入ってますから。そういったことも踏まえて分析してもらいましょうということで、委員の皆さんとも、認識を同じくしておくことで、今のご指摘についてはよろしいでしょうか？

はい。ありがとうございます。

もうひとかたを手挙げてた、お願いします。

◎永井委員：

ここの場で喋っているのかどうかちょっとわからないんですけど、お聞きしながらと思っています。何かというと、市民資料1-2の町内会に加入していますかというところの項目がありますよね。その中の加入している方の(1)の5番のところ、ゴミ集積所が利用できるという項目があるんです。今、むつ市の場合にはゴミ集積所は、ほとんど町内会で作ったやつで、町内会の班の人たちが作ったやつにゴミを投けているという状況なんです。

同じようなことですが、この頃うちを持っていない方、アパートに住んでいる方等は町内会にほとんど入っていないで、ゴミの投げ方が大変悪いということが現実問題としてあっていて、その集積所の場所にいる方々が大変困っていると。曜日でない日に投げていくし、何でもかんでも投げていくってこと、現実に問題が起こって、ちょっと関係ない話なんですけどね、ということがあります。それで、その辺のところを何かわかる方法がどっかにないのかなと思ってずっと見ていたんですが、町内会自治会のところの問5の5番のところにゴミ集積所が利用できるという項目があるんですよね。

そうすると結局この中でも、ゴミ集積所が使えるのは町内会に入ってる人だけだという限定をやっぱり出しているんですよね。結構本当に私わからないで喋っちゃうんですけども。ゴミ集積所市内にたくさんありますけれども、町内会に入っていない人はどこに投げればいいのかってことは結局問題になってくるんで。あいてるところに投けているのが現状だと思っています。

その辺、なんか福祉のことをやっているのに、何かこれを調べる方法ってのをなんかどっか入れないのかな、いらぬことと思ってんですけど。

あの、直接このあれには関係ないかもしれませんが、今町内会の人たちとか地域の人が一番困っているのが、この問題があるので、何とかできないのかなって今お話をしました。この会議は関係ないと思いますので、カットして構いません。以上です。

◎宮本委員長：

貴重なご指摘だと思います。ゴミ出しの問題ですね。うまく調査のその他の欄に書いてくれる人がいたりすると、この委員でも取り上げやすいんですけどね。

計画のときに、実際にそういうことが起きているということも踏まえて、こういう活動の取り組みの中に一部入れてみてはどうかとか、そういったようなことは、十分検討できるかなと思うんですが。

実際のその計画の文案作成というんでしょうかね、その取り組みの推進する目標作りのあたりで、今ご指摘のようなことっていうのを反映させていくというのが大事かなというふうに思います。そういうのもあって、ぜひ地域のヒアリングっていう、その聞き取りですね、っていうのをやってみてもらえると、今のようなアンケート調査ではなかなかわかりにくい地域の実情であるとか、その町内会の事情、あと入っていない人の事情とかですね、っていうのが、情報として出てくるというのがあるんで。何度も蒸し返して申し訳ないんですけど、ぜひそのアンケート調査以外に、もしできることがあるのであれば、住民の方々の意見を取り入れるとか、関係者の方々の意見を取り入れる機会をぜひ持ってもらいたいなというふうには思いますね。

大事なご指摘だと思います。

こういう大規模調査ではなかなか現れてこないところですので、ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか？委員の皆さん。

よろしいでしょうか？一点だけ、また確認なんですけど、資料4-2町内会自治会向けのアンケートの5ページ問7、細かいところで、多分これはまだ作成途中のもので、完成版ではないので。問7の選択肢7番と8番米印ついてるんです。

これは何かあれですかね、あの解説か何か載せるよという予定があるということで、いいんですかね。ぎょうせいさんの方だと思うんですが。

☆(株)ぎょうせい様：

ご指摘の通りです

◎宮本委員長：

そうですね。他のとこも目印は、こういうことですよっていうのを付ける目印がここにはあるということですよ。はい、ありがとうございます。

その他よろしいですか。

(なし)

議題第4号 地域住民の福祉ニーズ把握のためのアンケート調査票案について承認。

⑤宮本委員長より、皆様のご協力に感謝する旨のあいさつがあり、議長の任を修了した。

7. その他

◎坂部委員：

今会議をやって委員長からのご提言、委員の意見として承認されたわけですが、議題ってどうかこれに含まれない、大変、貴重な骨子を今日決定したということになるわけですが、お伺いしたいのは、議事録等は、作成して配布等するのかどうか。それをちょっと確認させていただければと。併せてお願いしたいのは今日みたいなちょっとボリューム多い場合、やはりできれば事前の配布がお願いできればなというふうなところはございますが、そのひとつよろしくお願いいたします。

◆事務局（武市）：

議事録についてはこの後作成し配布したいと考えております。

資料につきましても事前に配布できるように準備したいと思っております。

◆青山政策推進監からあいさつ

8. 閉会